

2016 シーズン説明会

【日時】

2016 年 10 月 9 日（日）午前 10 時 30 分～13:00

【会場】

南長野運動公園総合球技場 記者会見室

【株式会社長野パルセイロ・アスレチッククラブ出席者】

代表取締役社長	堀江 三定
取締役統括本部長	有賀 覚
強化本部長	神野 卓哉
営業事業本部長	井原 邦典
管理運営本部長	町田 善行

（堀江） 挨拶

本日は連休のお忙しい中、大勢のサポーターの皆さんにお集まりいただき、ありがとうございます。日頃は熱いご声援をいただき、厚く御礼を申し上げます。

まず先日の試合で、皆さんからの色々なご意見をいただきました。このような状況をつくってしまったこと、また、当日の対応等が不十分だったことを改めてお詫び申し上げます。また、シーズン中にこのような形で急遽、皆さんにお集まりいただきましたことについてもお詫び申し上げます。一日でも早くこのような機会をと思い、本日の開催となりました。その点をご理解いただきたく思います。

本日はシーズン中で、次に大切な試合があり、練習を優先させていただくため、三浦監督は同席いたしません。25 日に三浦監督も同席させると誤解させてしまったことについても、深くお詫びをいたします。本日の内容は神野より三浦監督へ伝えさせます。その点をご理解いただきたいと思います。思っております。

（中略）

あの試合後に、サポーターの皆さんから「クラブはサポーターを軽視しているだろう」という声をいただきました。決してクラブはサポーターの皆さんを軽視しているつもりはありません。それだけは信じていただきたい。私はアウェイを含めてパルセイロの全試合に帯同しています。いつの時も熱い声援を送ってくれるサポーターがいるクラブは、そんなにはありません。クラブスタッフ全員も皆さんの熱い気持ちを受け取っています。そのことだけは誤解のないようにしていただきたいです。もしそういった風に見えるよう

であれば、もっと真摯に受け止めて、対応していきたいと思っております。

ただ昇格ですとか、そういった結果は、我々の力だけではどうすることもできない部分もございます。JFL への昇格の苦勞を知っている皆さん、この南長野ができてから応援してくれている皆さん、本当に大勢に皆さんにサポートしていただいております。その中で昇格をするということは、クラブの最大のミッションのようなことになっています。それは事実です。2014 年に J3 が出来て、環境は一変しました。J3 リーグは当初、クラブを育成するリーグとして発足をしましたが、今では J2 を目指すクラブもいれば、選手育成を主とした若手主体のチームも参加をしています。U-23 のチームは J1,J2 のチームに選ばれた選手が出場し、当然、J3 よりもクオリティの高い選手が集まっています。日によってすごい力を出すときもあれば、メンバーによっては違う戦い方してきますし、また昇降格がない分、勝負に左右させない戦い方もしてきます。ただ昇格したいチームは、とにかく勝ちたいんです。昇格したいんです。我々も J2 昇格という目標はありますが、それとともに色々な力をつけなければすぐに降格してしまいます。過去に J3 から J2 に再昇格したのは 1 チームだけです。J2 を戦っていたチームが、降格になると本当に大変です。それを私も目の当たりにしています。もちろん昇格をしたいです。選手もスタッフも全員、サポーターの皆さんと一緒に。ただこうしたことを考えながら活動はしますので、ご理解ください。

それともう 1 つ、現状のクラブに足りていないのはクラブ内の一体感だと思っています。一体感がないのに、サポーターの皆さんと一体感がなれるとは思っていませんので、改革を始めようとしているところです。ですからクラブも努力をして一体感を持って戦うことを目指していきます。サポーター、ステークホルダー、スポンサー、地域、これらの方々と一体化する。この一体感が力となって、昇格であり、クラブの力になると思っております。

それともう 1 つ、J1 ライセンスがなぜ取れないかという話もいただきます。これにつきましては、トレーニングルーム併設などのクラブハウス設備が不十分だからです。J リーグも現在、要求が厳しくなっています。ただこういった問題は地域の皆さんや、ファン・サポーターの皆さんの応援がなければできません。育成にも力を入れたいと思っておりますが、長野を取り巻く環境は厳しいです。長野市に照明があるサッカーグラウンドがありますか。高校生や中学生は夕方から練習です。こうした環境も長野市の皆さん、地域の皆さんの支えがなければ、若い選手が育ちませんし、トップチームへの輩出にもつながりません。

再三言っておりますが、皆さんと一緒にこのクラブを盛り上げていきたいですし、良いクラブにしていきたいです。是非、今後ともクラブへのご支援をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(神野) トップチームの状況について

こんにちは。今日はお忙しいところを貴重なお時間を頂戴しましてありがとうございます。まず昨シーズンよりパルセイロの強化に携われさせてもらってきましたが、今シーズ

ンを迎えるにあたって、クラブには昨シーズン私が見てきて中で、このチームは昇格しても簡単には降格しない、J2 の定着はもちろん J1 を狙えるチームにするには、最低でも 3 年から 4 年かかるのではないかと伝えました。クラブ側からはそんな簡単にはチーム作りはできない。簡単には昇格できないことは一定の理解をしてもらいました。

簡単にできないという理由については、まず新卒の選手、高校生、大学生、また他の J クラブから選手を獲得するには、大学リーグや J リーグがパルセイロの公式戦と重なることが多いので、私 1 人では選手を見ることができません。もちろん J クラブの選手であれば、映像等で確認することはできるのですが、練習試合などのそれ以外の試合を見に行くことができないのが現状です。そういうところからスカウトの必要性、体制を整えないといけないのということが 1 つあります。

2 つ目に今シーズン、監督を代えたということがあります。監督が選手を見て、ポジション適正ですとか、システムをどのように当てはまるのかを、しっかりと性格を含めて見ていかなければマッチした選手の獲得、チーム編成はできません。そういったところから選手の入替えが必要というところですよ。

3 つ目は昨年、選手契約を延長しない選手に通達をした際、(中略) 甘えがある言葉がありましたので、そういった空気をなくすに時間がかかるとクラブには伝えました。

(中略)

新たに監督招聘のポイントとしては、クラブの考え方、環境、現状を理解してもらって、一緒にチームを作れる監督が良いと、クラブに伝えました。その中で監督経験がなくても指導の現場でしっかりとした経験のある方で、また必要はないかもしれませんが J リーグで選手経験がある方が、私の中では良いのではないかとということも伝えていきます。それから論理的に考えられ、選手に伝えることができる方、またそれをトレーニングに落とし込める能力がある方を、ポイントとして数名リストアップした中から、三浦監督に決定をしました。

それからオファーを出した際、今述べさせてもらったことと別に、昨シーズンまで私がパルセイロのサッカーを見させてもらったときに、ポゼッションという言葉にすごく囚われているように見え、選手たちの判断やプレーが、それに縛られていてできていなかったというのを感じていました。(中略) ポゼッションが勝つため、ゴールをとるための手段になっていなかったということがありましたので、勝つための、ゴール奪うための手段にできるチームしてもらいたいと話をしました。J3 リーグには色々なクラブがあって、またレベルも上がってきています。そして J2 に昇格したときもそうですが、色々なチームと対戦したときでもイニシアティブをできるだけ取りながら、ピッチ上の状況をしっかりと判断して、カウンター、ロングフィード、ポゼッションも含めて、しっかりと判断できるチーム、選手を作ってほしい。勝つため手段として判断ができるチーム作りをお願いしました。

(中略)

その過程の中でチームの勝ち負け、昇降格があると思っています。それが 4 年後、5 年後

には J1 昇格を狙えるチームにしていきたいということをお願いして、三浦監督には今年の昇格もそうですが、チーム作り選手育成というところをお願いして、受けてもらったということです。

以下、質疑応答

(男性 A)

質問①昨シーズンの総括について。

質問②残り 6 試合をどう戦っていくのか。

質問③若手育成について。

質問④選手起用について。

質問⑤試合ごとに違うチームに見える理由。

質問⑥誰が戦術を決めているのか。

質問⑦薩川監督の退任経緯。

質問⑧大事な試合のときに勝負弱いのでメンタルトレーナーの必要性。

質問①回答 (神野)

昨シーズンまでは、ポゼッションサッカーというところに縛れた感があり、カウンター、パワープレー、ロングボールも使っていかなければ、昇格はできなかったのかと思っています。私がチームを見ている中では、攻撃が遅いというところがあるので、そこが欠けていました。そういうところから塩沢や渡辺といった高さ、サイドはアップダウンができる選手を入れたということです。

(神野) 質問②回答

チームを作る過程と言いましたが、みんな負けようと思っていませんですし、負けて学ぶことももちろんあるのですが、私も監督も勝って得るもののほうが大きいと思っています。勝つために戦う、ただその内容がどうなんだと言われるとなかなか正直言いづらいですが、これまでトレーニングしてきたことをブレずに戦うつもりです。

(神野) 質問③回答

スカウティング活動ができなければ、選手獲得はできないと思っています。ですから今シーズン、新卒選手は獲っていません。今年に入ってから大学生になりますが、練習に参加させています。高卒選手については、今、パルセイロに来て育成する状況・環境ではないと思っていますので、新卒をとるなら大学生。若手というなら J1、J2 にいるチャンスのない選手を獲ることになると思っています。

(神野) 質問④回答

今年のチーム編成のときに、三浦監督はまだアビスパ福岡で昇格プレーオフを戦っていて、返事をもらえたのがその後だったため、先に進めないと手遅れになってしまう部分もありましたので、ほかのスタッフと相談をしながら私が主導で獲得をしました。監督にはマッチできるように、日々トレーニングをしてもらっています。

(神野) 質問⑤回答

私が見ている中ではいつも同じミーティングをしていますし、戦術はまったくではないですが、軸はブレずにやっています。私は違うとは思っていませんが、1試合ごとに違うと感じられるのは、もしかしたら気持ちの面で違いがあるかもしれません。

(神野) 質問⑥回答

最終的には選手も戦術もすべて現場の長である監督が決めています。ただ監督もフレッシュな方なので、コーチの意見を取り入れたり、あと私にも聞いてくれたりはしています。コーチングスタッフが意見を出し合いながら、私も次の対戦相手の映像は、2回ぐらいは見るようにしているのですが、もちろん求められたら意見するようにしています。

(神野) 質問⑧回答

自分も監督も同じ意見は持っています。(中略) 厳しい戦い、厳しい時期を乗り越えられるような強いメンタルを持った選手を育てなくてははいけません。私も選手時代にメンタルトレーナーの指導を受けたあとに、結果を残すことができたという経験もありますので、その意見は大賛成です。

(堀江) 質問⑦回答

JFL時代にクラブが盛り上がる中で、彼のキャラクター、パフォーマンス、レベルがマッチングしていたと思います。彼には将来、J2、J1の監督になって欲しいですし、もっと色々な経験をしてほしい等の話をしました。どうして辞任になったかは答えられないのですが、ただ次の年、当然 JFL 優勝をしました。それはそれで監督交代という結果はついてきたと思っています。

質問⑨ (男性 A)

薩川監督が辞任した理由は Jリーグで戦えるチームにするためということでしたが、Jの監督をしていない三浦監督を選ぶ基準と矛盾があるのではないかと。

(堀江) 質問⑨回答

確かに監督としては1年目かもしれませんが、ヘッドコーチやアシスタントコーチでし

っかりと経験しているのも事実です。私はアビスパ福岡での状況、それからアルビレックス新潟での状況を色々な関係者から確認をして、この三浦文丈だったら監督にしたらやってくれるという期待感を持ちました。J 経験や J 監督ではないとかではなくて、今年の考え方の中で、三浦監督がマッチするだろうなと思って最終的にオファーを出させてもらいました。

(男性 B)

質問①ポゼッションサッカーを変えて、弱くなったように見える。

質問②レノファ山口のようにスタイルを徹底しないのか。

質問③勝又選手をウイングハーフした経緯。

質問④得点が少ないことについて

質問⑤1 万人デーのあとの集客が少ないことについて

質問⑥新体制の中で 3、4 年のスパンとは説明がなかった。

(神野) 質問①回答

ポゼッションサッカーがダメだとは言っていないで、ポゼッションサッカーの上積みとして色々なサッカーを状況に応じてできるという意味です。ポゼッションサッカーを否定しているわけではありません。

(神野) 質問②回答

言葉にしづらいのですが、ポゼッションスタイル、カウンタースタイル、ロングボールスタイルではなくて、理想かもしれませんが、それらを状況に応じて判断できるサッカーを目指していくつもりです。ではパルセイロのスタイルが何といわれれば、フレキシブルになるのかなと。ただ言葉にしますとひとり歩きしてしまっ、監督も私もそれは嫌なのですが、ただブレずに自分たちのサッカーをやるという意味ではレノファ山口さんと一緒です。

(男性 B) 追加質問②

前線の選手たちは自由にやらせていると聞いているのですが、距離感や連携など自由過ぎるのではないかな。

(神野) 追加質問②回答

(中略)

(神野) 質問③回答

監督、コーチングスタッフともに色々な話はしまして、西口を使うのか、どうするのか。

非常に色々な意見を出たのですが、前への推進力というところと、勝又の調子がすごくよかったということで、起用したと覚えています。

(神野) 質問④回答

昇格をするためにももちろんやっている部分と、それとは別にチーム作りのところでチャレンジしている部分もあり、皆さんの期待に応えられていないところは本当に申し訳ないと思っています。ただ楽しいもそうですし、得点を獲れるもそうですし、勝つことも同時にできるようなチームにしないといけないと思っています。

(堀江) 質問⑤⑥回答

私としてはただお客さんを集めるためだけにやったわけではなく、これまでサッカーを観たことのない方を含めた多くの方に楽しさや、パルセイロというチームがあることを知ってもらいたいということで、あの時はクラブスタッフ、サッカー協会の皆さん、関係者の皆さん、サポーターの皆さん、本当に色々な方のご協力があって、1万人というのを達成いたしました。ただこれを一過性にするつもりはありませんし、事業部を中心にライトサポーターをどう取り込んでいくのか。これからの観客動員をどうするのか。色々なアイデアがあれば、取り入れていくつもりです。(中略)

3～4年のスパンということですが、私自身は3～4年というのではないと思っていますので、とにかくずっと今年は昇格だ。昇格だ。と言っていますし、三浦監督も昇格第一を考えてやってもらっています。今年昇格という大きな目的は変わりませんので、新体制では3～4年という話はしておりませんでした。

(男性B) 質問⑦

選手を入れ替えすぎではないか。

質問⑦回答 (神野)

チーム作りに時間がかかる中で、選手の入替えは必要でした。移籍してしまった選手に関しては、色々と話していく中で、将来や立場を踏まえて、納得したうえで移籍をしています。もしかしたら甘いのかもしれないですが、選手のことを考えつつというのもあったので、入れ替えが多いとは思っていません。

※以下、一問一答を依頼

(男性C) 意見

天皇杯の名古屋グランパス戦のようなサッカーをしてほしい。あのような選手たちから熱意が感じられるようなサッカーをすることで、パルセイロを認知されるのではないか。

(堀江) 意見回答

(中略) 藤枝 MYFC 戦のあとに、戦術的なことではなくただ精神的な部分で、「サポーターの皆さんに応えるような試合をしてください」と、選手や監督に話しました。当然勝つためにやる試合なのですが、勝つだけではなくて、ピッチから観客の皆さんにどう伝わるか。選手が一所懸命やってくれると信じ、言葉をかけました。

(男性 D) 意見

最初に議事録のお詫びはあったが、なぜそのような経緯になったか。またニュースリリースの出し方も分かりづらかったりするので、サポーターとしては不信感を感じる。

(有賀) 意見回答

完全に私のところのミスで、スタッフから議事録についての校正をしてほしいとメールがきていましたが、依頼のまま止まっていたということです。

(堀江) 意見回答

(中略)

(男性 E) 質問

J1、J2 に定着できるチームにするには 3~4 年かかると言われていましたが、1 年目で達成すること、2 年目ではどういう目標を立てるなど、チームの目標設定はあるのでしょうか。

(神野) 質問回答

昨年からできるようになったことに関していえば、状況判断はできるようになったと思います。これから先、まだ監督と正確にすり合わせをしていないですが、リトリートした相手に対して、早い攻撃もできませんでしたので、崩すということをしっかりとやっていけないといけないと思っています。

(男性 E) 質問②

練習場もそうですがクラブ環境設備という面でも目標設定はあるのでしょうか。

(堀江) 質問②回答

今年のサポーターズカンファレンスのときにお見せした、2012 年に作ったプランというのがあります。これに則ってできている部分はあるのですが、ただ現実とのギャップが出てきていますので、これを修正しながらやっていこうとしています。ただこれには難しい

問題がありまして、クラブだけで解決できることと、ほかの色々な方々を巻き込まないといけない場合があります、確かに年度ごとの目標というのはあるのですが、なかなか具体的な部分については、オープンにすると難しい場合があることもご理解いただきたい。今後は目先の目標、中長期の目標をしっかりと検証しながら、共有していきたいと思っています。

(男性 F) 要望

選手は契約でいなくなってしまうかもしれませんが、最後に残るのはサポーターです。サポーターは募金や署名ぐらいしかできないですが、情報発信をしてください。

(堀江) 要望回答

そういう意味では皆さんにお助けをしてもらわないといけないところが多々あります。正直、このスタジアムも皆さんの力で作っていただきました。ただお話されているとおり、この先、地域で応援してもらう皆さんとは一緒になっていかなければ、地域に根付いたクラブではありませんので、改善してまいります。

(男性 G) 質問

今シーズンのアウェイについて、昨シーズンより戦績が落ちていて、また相模原戦前まで7試合連続で勝利がありませんでした。また今シーズンは他のクラブよりも連休も多く、夏場も勝ち点を取れていなかったことから、フィジカルが弱くなっていないでしょうか。アウェイ移動については昔より楽になっているはずだと思います。

(神野) 質問回答

移動については良くなっていると思っていますが、去年とあまり変わってはいません。アウェイで勝てない原因については、コーチングスタッフで話をしましたが、正直答えは出ていないです。フィジカルの面では、確かに連休は多いかもしれませんが、昨年よりフィジカルトレーニング、有酸素系のトレーニングは、昨年よりも多いです。

(男性 H) 質問①

3年間でJ2に定着できるという話でしたが、今年の補強はそれを念頭に入れた補強ではなかったように見えます。今年の補強の方針を教えてください。

(神野) 質問①回答

今年の補強選手がマッチしていないというのは、監督の就任が遅れてしまったのが1つの要因だと思っています。ただ足りないものというところで、高さ、サイドの選手というところと、ある程度、経験を落とし込むというところでは、外れていないと思っています。

(男性 H) 質問②

補強した選手の年齢の高く多く、短期的な結果という風に見てとれます。また結果が出ていないので、先ほどの3年間で定着というのが結びつかないのですが。

(神野) 質問②回答

年齢が高いといわれればその通りかもしれませんが、チーム作りと同時に勝たないといけないという部分もありました。偏ったように見えているかもしれませんが、同時にできるよう考えながらやっています。

(男性 I)

質問① 中盤以降の攻めが遅く、スピードは去年と全く変わっていない気がします。

質問② 新体制のときに監督が創造性のあるプレーを求めているとっていましたが、その効果は。

(神野) 質問①回答

昨年よりボールを奪った後に、ボールを奪ってから何秒か以内までゴール、シュート、クロス、ペナルティエリア内まで侵入している回数は、昨年よりも増えています。

(神野) 質問②回答

創造性の定義が難しいですが、もちろん色々なことを提示して、もっと指導をしないといけないところがあるのかもしれません。ただ徐々にワンタッチ、ツータッチをトレーニングの中ではできるようになってきていると思います。

(男性 I) 追加質問

他クラブと比べてパスのミス、イージーミスが増えた気がします。

(神野) 追加質問回答

今シーズンは短いパスだけではなく、長いパスも使うようになっているので、もしかしたらそう見えているかもしれませんが、質を上げていく必要があります。もっと長いパスの精度を上げていかなければ、カウンターや速い攻撃はできないので、もっと改善できるようにします。

(男性 J) 質問①

負けた試合の映像は何回見ますか。勝てないのは分析ができていないのが原因ではないでしょうか。

(神野) 質問①回答

(略)

(男性 J) 質問②

勝てていない原因というのは何ですか。

(神野) 質問②回答

私なりには分析していて、少しやり方を変えたりとか、考えさせたりしている部分があるので、そこがマッチしていないなというところがあるのだと思います。

(男性 J) 質問③

練習時間について。全体練習が短いのではないのでしょうか。

(神野) 質問③回答 (神野)

全体練習は午前中だけのときが多いのですが、午後は筋トレですとか、個人練習をさせていたりします。全体練習は1時間30分ぐらいしているので、どのクラブと比較しても短いとは感じていないです。

(男性 K) 要望

大分戦の前までに議事録を出してほしい。

要望返答 (有賀)

報告はできるだけ早くしたいと思っています。ただ議事録については話したことすべてを網羅する訳ではなく、メモのような形になります。

(男性 L) 質問①

これまでの24試合についての三浦監督の評価を教えてください。

(神野) 質問回答

(略)

(男性 L) 質問②

シーズン序盤戦で選手を代えなかったことについての三浦監督の評価

質問回答 (神野)

選手起用についてはトレーニングを見ながらであるとか、戦い方とマッチさせるというところでは、起用について不信感は正直なかったです。

(男性 L) 質問③

去年から在籍している選手と新加入選手との融合について

(神野) 質問回答

偏ったということではなくて、しっかりと競争はさせながら起用していました。

(男性 M) 質問①

横浜 FC は負けたがいい試合をしたのに、なぜ次の試合で同じメンバーでなかったか。

(神野) 質問①回答

なかなか本当のことは言えない部分ですが、疲労を考えてです。

(男性 M) 質問②

チームのサポーターもいるが、個人のサポーターもいる。選手が全然使われていない。

(神野) 質問②回答

選手個人でいいますと、誰かを使えば、誰かが出られないというのがあるので、すべての方に納得してもらうのは難しいと思います。

(男性 M) 質問③

練習で頑張っている選手を使ってください。

(神野) 質問回答

頑張っているだけでは出られませんし、最終的には監督が競争させて出場させます。コーチングスタッフたちがトレーニングを見て、話をして、疲労を見て、毎朝、その報告を受けて選手起用はしていますので、ご理解ください。

(男性 N) 質問

2〜3年後というお話がありましたが、結果でなかったらどうしますか。

(神野) 質問回答

たぶんクビになると思います。

(男性 0) 質問①

集客をどう安定させますか。

(堀江) 質問①回答

1 度も来たことがない方々に対しても、試合、スタジアムに来ることによって喜びや感動があったり、これだけ共有できるものがあったり、そうしたことを PR していきたいと思っています。あと皆さんが満足をしていないことも承知していますが、日頃の活動として色んな意味での露出が大切だと思っています。その反面、欠けていたコミュニティを作ることに関して、少しずつ出来てきている気はしております。というのは家族の会話にパルセイロという言葉が出てきたり、お子さんやお孫さんと来るであったり、そういった地方独特の繋がりは広まってきていると感じています。地域に根付かす活動をやっていくことで、共通の話題を提供することになり、そういった意味での関心を深めてもらうことが、動員を増やす要因になると思っています。

(男性 0) 質問②

JFL 時代のように選手を露出しなければ一体化にならないのでは。

(堀江) 質問②回答

一体化はそういうことも踏まえています。できるだけ外に出ていくというのは、当然スタッフだけではなくて、選手を含めたことです。今後クラブとして、可能な限り努力をしていきたいと思っています。

(女性 A) 質問

毎年 J2 昇格が目標だと思っていましたが、神野さんは 2018 年に上がればいいという考えなのでしょうか。

(神野) 質問回答

チーム作りについて最低 3 年かかりますという意味です。その中で、チームの勝ち負けがあつて、昇降格があるので、もちろん 1 年で上がればということもあるので、三浦監督も今年昇格を目指してやってくれています。3 年で上がるという意味ではないです。

(男性 P) 質問①

クラブの風土、企業理念を教えてください。

(堀江) 質問回答

スポーツビジネスというのは、間接的に色々な方が関わって成り立つ会社でして、売上

の 7 割以上が皆さんの本当に大切なお金をいただいて、運営をしております。ですから当然、皆さんに夢や希望を与えるとカッコイイことは言います。言いますが、やはり企業経営からしますと、地域に貢献する、しっかりとした業績を出す。(中略) 理念というのは地域に根ざしたクラブということです。地域に何をお返しできるかを常に考えながら我々は活動しなければならない。それが今できているかといわれれば、正直全部はできていないです。(中略) 我々は強化・育成・地域社会との共生・連携ということをクラブのビジョンとして出しておりまして、皆さんに少しでもご理解いただきながら支援を受けてやっていかなければならない。(略)

(男性 P) 質問②

ファンとの結びつきの強いスポーツ興行のため、そんな簡単にファンは離れていかないと思います。そのためスタッフの中で意識が甘い人がいませんか。

(堀江) 質問回答

私が色々言っても落とし込めなければ、何も意味もないと思っています。パルセイロはみんなのクラブです。ここにいるスタッフを含めたみんなを考えて、みんなで行動をする。そういう企業にしていきたいと思っています。もし甘えがあるのであれば、真摯にそれを受け止めて、少しずつ改善をしていきます。(略)

(男性 Q) 質問

サポーターへ対しての要望や意見はないのか

(有賀) 質問回答

このスタジアムがなぜ建ったのかといえば、これは皆さんの 8 万を超える署名のおかげです。先ほどトレーニング施設、クラブハウスの問題がありましたが、まだ乗り越えなければならないこともたくさんあります。堀江が何度も言いますように我々に足りないのは一体感だという指摘もされておりますし、サポーターの皆さんと手を取りあって必ずやらなければならない時がきますので、そのときには是非よろしく願いいたします。

(男性 R) 質問

質問① 前に質問のあったスカウトの回答がよくわからない。

質問② 個人スキルは高いがマッチしていない。

質問③ 練習や練習試合で緊張感がない

質問④ 負けても納得できる試合をしてください。

(神野) 質問①回答

言い訳みたいに聞こえていたらすみませんでしたが、それでもしっかりとやらないといけないですし、もちろん僕も腹をくくってやっています。体制を含めてクラブにもっと働きかけなければいけません。

(神野) 質問②回答

もしかしたらそうかもしれないですが、そのところも伝えて改善しなければならない。

(神野) 質問③回答

確かにそういうときもあります。ただ毎日そういうことではないですが、もっと緊張感を持たせていきます。

(神野) 質問④回答

たぶん負けたら私も皆さんも納得はできないと思いますが、それでも頑張りが見えるという意味だと思うのですが、僕も同じような意見は持っています。(中略) 理屈ではなく、選手が戦っているなというサッカー、試合がもっとできるようにしなければいけないと思っています。これはコーチングスタッフに伝えていきます。

(男性 S) 質問

質問① 市立長野の選手を獲る可能性があるのか。

質問② こういう事態になった際に経営陣の皆さんはどういう責任・行動をされますか。

質問①回答 (神野)

あるかないかでいえば、ありますが、それだけだと誤解が生じますので、補足をさせてもらおうと、高卒の選手を獲るとするのはクラブとして責任を持って、選手の将来のことも考えて獲得をしなければならないですとっております。3年間やってダメだったから契約を延長しませんよ。ほかに行くところもないですよ。というのは決してあってはいけないことだと思っています。長野出身の子たちをパルセイロに入りたいという思いもありますので、獲得は視野に入れています。

(堀江) 質問②回答

責任問題についてはおっしゃられるように、こういった結果責任・統率責任・説明責任は上に立つものの責任だと思っています。ただ責任のとり方というのは色々あると思います。簡単に辞めてしまい、その後に繋がらなかったら、このクラブは当然、壊滅すると思います。(中略) ただこの企業でもそうですが、色んな問題が出た時には当然、多少の血を流してもしようがないと思っています。偉そうなことを言っていますが、先ほどから言われているご意見は当然、クラブの未熟さ故、努力不足であったり、認識の甘さ、他人任

せであつたりとか、そういったことが要因になっていることを我々も重々承知しています。今日、前に座っているメンバーは認識が強いと思っていますし、もしその認識がなければ、即刻辞めてもらいます。

※出席者から登壇者の態度が指摘される。

(有賀)

本当に責任をとらないといけないですし、ただ成長できるところまでは、それまでは常に真摯に受け止めながら改革をして、そして次のステップに向かっていきたいと思います。また失礼な態度があつたとのことで、申し訳ございませんでした。今日の説明に足りなかった部分につきましては、また必要であれば次の機会を設けたいと思います。とにかくサポーターの皆さんと一体感をもって、クラブを成長させたいと思いますし、今後ともよろしく願いいたします。

(男性 G) 要望

シーズン終了後にも説明会開催を確約してほしい。

(堀江)

今日は本当にありがとうございました。皆さんの気持ちを真摯に受け止めまして、少し態度が悪かった人間がいたりしまして、そのところについてはお詫びを申し上げます。私もこの時間だけ皆さんに気持ちが伝わったと思っていません。一体化の1つとして、クラブも一体化になるような努力をしていきます。サポーターの皆さんとの機会に関しては、具体的にどうするかはいえませんが、協議したうえで、そういった機会を定期的に設けたいと私は思っています。

それから3~4年という言葉はありますが、まだ私はJ2あきらめていません。特に次の大分戦は頑張ります。選手もそのつもりで練習しています。今日の考えを神野から監督、以下スタッフに伝えてもらいますし、大分戦、絶対に勝つとは確約できませんが、勝つための努力はいたします。是非、皆さんには熱い応援をしてもらい、また大勢の方々をスタジアムに呼んでください。そして選手に気合が足らなかったら、叱咤激励してください。一番辛いのは選手だと思います。最後はお願いとなりましたが、本日はお忙しい中、お越しいただきまして、誠にありがとうございました。

以上